

2021年度 前学期
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」 シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

発展的科目：比較子ども社会学特論（2単位）

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

比較子ども社会学特論（科目コード 21J2408） 2単位

木曜 18:20～19:50

担当：小玉 亮子（お茶の水女子大学 教授）

主題と目標

現代において子どもと教育に関して、多くの課題があることは日々マス・メディアを通じて繰り返し語られている。子どもがあぶない、学校が問題だ、家族は何をしているのだと問題が論じられる。そのような中、目の前で生じる事件に振りまわされることなく冷静に問題を理解するためには、「事態を大きな文脈の中で見ることを可能にする広範な知識を常識的に流通する固定観念に縛られない自由な発想法を必要とする」との立場にたって、事態を俯瞰するための広い視野を身に着けることを目標としている。

授業の形態

■講義，演習

教科書・参考図書

Nikolas Rose（2010）Inventing our Selves: Psychology, Power, and Personhood (Cambridge Studies in the History of Psychology) .

ニコラス・ローズ（2016）『魂を統治する』以文社.

評価方法・評価割合

■発表=50% ■授業への参加態度=50%

授業計画

初回は、進め方のガイダンスを行う。

二回目以降には、テキストを分担し、個人発表を行う。

発表者は、テキストの内容に対して、単純な疑問的から発展的な問いまで、問いを提示すること。

また、それらの問いに対する調査を事前に行い、発表を行うこと。

参加者は、各自、テキストを元に、自分の問いを用意して、授業内での議論に望むこと。特に、参加者の中から事前にディスカッサントを決めておくので、ディスカッサントになった人は授業での議論のファシリテートをする。

時間外学習

テキストについては、事前に必ず全員が読んで、疑問点やコメントから議論できるように準備して参加すること。

学生へのメッセージ

テキストの内容を熟読するだけでなく、テキストを手掛かりに考えるという読み方を身につけるようにしたいと思います。みなさんと一緒に、アクティブにテキストを読んでいきたいと思ひます。